

(ブランド推進課)

プレ桑名ほんぱくの実施について

プレ桑名ほんぱく（桑名本物力博覧会）は、オンパク型地域見本市を活用したものです。オンパク型地域見本市とは、「小」さな規模の体験交流プログラム（以下、PG）をたくさん「集」めて（50PG程度）、「短」い期間（1～2ヶ月程度）繰り返す地域活性化ツールです。

1. 桑名でオンパク型地域見本市を実施する目的

- (1) 桑名らしさを追求する体験交流PGの造成及びその運営、参加を通じて、市民が、桑名の魅力をより深く知り、桑名への愛着度を高めることを目的に、桑名ブランド推進事業の一環として開催する。
- (2) オンパク型地域見本市の運営事務局を担う人材を掘り起し、おんぱく運営ノウハウの技術移転を図ることで全員参加型での事業化を目指す。

2. 桑名でのオンパク型地域見本市の経緯と今後について

平成 26 年度 ■内容 テスト・マーケ ティング	○試行的に長良川おんぱく 2014 に桑名市からPGを提供（桑名赤須賀漁港せり見学と焼きはまぐりランチ／参加費 2,000 円）。 申込初日に定員を満たし、岐阜県からの参加者が大半を占めた。
平成 27 年度 ■内容 市内での人づ くりと組織化	○オンパク型地域見本市の運営事務局の担い手（企画運営人材）を公募する。 ・「長良川おんぱく 2015（9 月末から 11 月末）」へPGを 10 個程度提供する ・事務局運営ノウハウとともにPG掘り起し、造成ノウハウをプロジェクト推進の中で学ぶ。
平成 28 年度 ■内容 担い手の増加 と運営スキル アップ	○平成 27 年度の「プレ桑名ほんぱく」に参加したメンバーを中心に「桑名ほんぱく」に関わる人を増やし、市民を中心に据えた自走する運営母体育成を目指す。

インバウンド事業について

- ① 外国語版パンフレットについて
2月末までに完成。英語、中国語（繁体字、簡体字）韓国語の4言語を作成。各1万部、計4万部作成。
市内の観光地、名古屋市内のホテルや空港などに置く予定。
- ② プロモーションビデオについて
15秒ものと2分ものの2種類制作。ショートバージョンは3月の1か月間、セントレア4階SORAビジョンにて放映。(7:00~22:00。15秒コンテンツ1時間あたり4回)ロングバージョンはイベント放映やサイネージ広告として利用する。
- ③ FreeWi-Fi 整備について
エリア設計は桑名駅東改札口構内と駅前ロータリー、寺町広場、六華苑、博物館、石取会館の6箇所。
駅から八間通を通り六華苑までの周遊コースと付近の公共施設に整備することとした。4月から運用開始する。
- ④ サイン表示の多言語化
桑名駅東口踊り場に桑名のイメージサイン、駅前ロータリーに観光スポット案内地図、八間通り9か所に既存サインを多言語化（英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語）させる。3月までに整備する。

教育委員会での国際化に関わる事業

(教育委員会指導課)

○桑名市の ALT について

- ・在籍人数は4名で、各 ALT の出身国内訳はアメリカ2名、イギリス1名、ニュージーランド1名となっている。
- ・1週間で35時間勤務している。(うち週4日は中学校、1日は幼稚園・小学校)
- ・各 ALT は全中学校中それぞれ2~3校を担当し、約1か月ごとに巡回している。

○研究指定校について

- ・久米小学校と在良小学校をモデル校として、「音声指導面での先進事例の研究」や「TT (チームティーチング) 体制の研究」を推進していく。
- ・専属の小学校英語活動支援員 (JTE・英語の堪能な日本人) が担任とともに英語活動を行う。
- ・1、2年生は2週間に1時間、3~6年生は1週間に1時間実施する。
- ・音声指導を中心に、歌、絵本、簡単な会話活動、ゲーム的な活動等を行っている。
- ・また文字と音を結びつける学習をしている。

○英語キャンプの実施

- ・8月下旬に、1泊2日で英語キャンプを2回実施している。
- ・対象は、市内在住の小学校5・6年生、中学生。
- ・H27年度は40名×2回の定員であったが応募者が多く抽選になった。H28年度より80名×2回の定員に倍増する予定。

○平成32年より、小学校5・6年生で外国語(英語)、小学校3・4年生で外国語活動(英語活動)が始まる。

(教育委員会人権教育課)

○市内に在住の外国人児童・生徒に対し、日本語指導を実施している。

- ・講師は臨時職員が実施している。
- ・夏休み期間中に「ことばの教室」を実施(2時間×10回)。

○進路ガイダンス

- ・小5、6年生、中学生の外国人児童・生徒・保護者を対象に日本の教育制度など今後の進路に向けて説明会を開催している。
- ・説明会には通訳ができる者が、就く。
- ・通訳言語は多言語ある(ポルトガル語、スペイン語など)。

○その他、学校の懇談会等に通訳者を派遣している。

国際交流・多文化共生事業について

○国際交流市民アドバイザー委員会について

- ・政策経営課に桑名市国際交流市民アドバイザー委員会の事務局を置いている。
- ・多文化共生事業の一環として、日本語教室を開催しているほか、移動教室やさくら祭りなど、交流イベントを開催している。

○ポルトガル語通訳員の配置

- ・政策経営課内にポルトガル語通訳員を1名配置している。
- ・主に、広報の翻訳を担当する他、庁内の事務に関し各課へ通訳派遣を行っている。
- ・また、在住外国人（ポルトガル語圏）へ各課から送付する等の文書を翻訳する。

○県内市町多文化共生ワーキング会議

- ・県内の、主に在住外国人の割合が多い市町の担当者が集まり、各市町の情報交換等を行う。
- ・主催は三重県の多文化共生を担当する部署で、月に1回実施する。